

■アンコンシャスバイアス研修～管理職対象

◆**ねらい** : 認知とは、外部から収集した情報を処理してアウトプットを出す「脳の情報処理プロセス」のことです。人は認知の届く範囲に限界があるので、自分の周囲の情報すべてを収集できず、無意識のうちに、自身が優先すべき情報を認知フィルターで取捨選択しています。結果的に、その後の意思決定に歪みを生じさせたり、組織パフォーマンスや人に対する評価や成果にも影響を与えることがあります。組織文化や風土は、人の認知の集合体と言っても過言ではありません。若手人材育成や指導の場面において、お互いの信頼関係を構築する上で効果的なアンコンシャスバイアスを習得します。

◆カリキュラム案

時間	内容	手法
半日	1. アンコンシャスバイアスとは何か (1) 無意識に「こうだ」と思い込むこと (2) 日常のアンコンシャスバイアスと向き合う (3) アンコンシャスバイアスの影響に想いを巡らせる 2. 判断・言語に潜む「私」のアンコンシャスバイアスに気づく (1) 人や組織に影響する代表的なアンコンシャスバイアス (2) 私のアンコンシャスバイアスを振り返る 3. ネガティブな影響を防ぐための3つの対処法 (1) アンコンシャスバイアスを意識する (2) 頭ごなしに決めつけない、押しつけない (3) サインを手がかりに対応する 4. アンコンシャスバイアスを切り口にメンバーを導く (1) 信頼される「任せ方」を考える～伝達、采配、相談 (2) 「配慮」を考える (3) 「仕事ぶりの評価とフォロー」を考える (4) 「メンバーの成長支援」を考える 5. 一人ひとりがイキイキと活躍するより良い組織づくりに向けて (1) 「私」を主語にアンコンシャスバイアスと向き合い続けるセルフチェック (2) 上書き体験を振り返る (3) アンコンシャスバイアスに気づくことで得られる未来を考える (4) 「私」を主語にどんな一歩を踏み出すか 6. まとめ	講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク ペアワーク 講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク 講義 個人ワーク グループワーク